

Land and Freedom



永遠なれ——自由への熱いまなざし!

不滅の理想に生命をかけた男たち、女たちがいた。
スペイン内戦から60年をへて万感の思いをこめて描くケン・ローチ監督、畢生の感動作!

ケン・ローチ監督作品

大地と自由

'95年カンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞／ヨーロッパ映画大賞／セザール賞最優秀外国語映画賞

監督：ケン・ローチ／製作：レベッカ・オブライエン／脚本：ジム・アレン／撮影：バリー・エクロイド
イアン・ハート／ロサナ・バストール／イシヤール・ボジヤイン／1995年、イギリス・スペイン・ドイツ合作／配給：ユース・ピクチャーズ、日本ヘラルド映画

'95年カンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞／ヨーロッパ映画大賞／セザール賞最優秀外国語映画賞

ケン・ローチ監督作品

大地と自由

Land and Freedom



●イギリスのリバプールで、ひとりの老人が息を引き取った。遺品を整理していた孫娘は、古いトランクの中にあつた赤い布に包まれた土、黄ばんだ写真や手紙から、祖父デヴィッドの若い頃のことを追想する。——1936年、誕生してまもないスペイン共和国政府に対して、フランコ将軍が率いる陸軍が反乱を起こし、戦火は全土に広がった。

理想に燃える若者デヴィッドは、反乱軍と戦うために、故郷リバプールを後にして、義勇兵として前線に参加する。

●「ケス」('69)、「レイニング・ストーンズ」('93)などで知られるイギリスのケン・ローチ監督は、これまで一貫して真摯な視線で社会と人間を見つめてきた。20世紀の歴史の流れに、大きな転換をもたらしたスペイン内戦(1936～1939)を描いた最新作「大地と自由」('95)は、ローチ監督が初めて国外で撮影した作品で、そのテーマにおいても、スケールにおいても一番の野心作といえる。スペイン内戦をテーマにした劇映画は、アラン・レネ監督「戦争は終わった」('65)以来、実に30年ぶりになる。

1995年、カンヌ国際映画祭で「大地と自由」が上映されると、感動した観客の拍手は鳴り止むことなく続き、メイン会場グラン・パレは異様な興奮に包まれた。ここで国際批評家連盟賞を受賞した後、世界各地で上映され、ヨーロッパ映画大賞、セザール賞最優秀外国語映画賞などを受賞し、多くの反響を呼んだ。

●かつて作家 E. ヘミングウェイ(『誰がために鐘は鳴る』)、G. オーウェル(『カタロニア讃歌』)らの世界の人々が、理想を掲げて、正義と平等のために戦ったスペイン内戦。ローチ監督は、「大地と自由」で、時代の嵐の中心に飛びこんだ若者たちの栄光と挫折の日々を、共感をこめて描いている。この作品は彼らへの頌歌であると共に、内戦の真実を語った、今日に通じる生きた歴史である。



●デヴィッドが参加したスペイン・アラゴン地方の前線には、世界中から若い男女が集まっていた。塹壕での戦いの日々——。デヴィッドは同志の女性兵士ブランカに好意を抱く。彼女は、この戦いを通して、労働者と農民の革命を成功に導こうとしていた。一方デヴィッドは、内戦をただ単純にファシズムという悪を倒すための戦いととらえていた。しかし、戦いを続けるうちに、バルセロナで多くの市民が共産党によって粛清されるのを見て、仲間だったはずのスターリン主義者の裏切りをしだいに知っていく。

●ローチ監督はこの作品で、スペイン内戦における、ファシズム側の反乱軍と反ファシズムの対立を取り上げるだけでなく、これまで語られることの少なかった、反ファシズム側における、スターリン主義者と反スターリン主義者の対立を描いている。「スペインの革命は、当時のスターリン・ソビエト共産党の国際政策のために打ち砕かれました。そしてイギリスやフランスの西側諸国は自らの利権のために共謀してスペインのファシズムを助け、スペインの民主主義を孤立させたのです。その過ちのために、人々は内戦について黙して語らぬようになりました」(監督)。

ローチ監督は、現代の若いイギリス人女性が祖父の死を機に、彼がかつて参加したスペイン内戦の真実を知るという設定にすることによって、そのような忘却に疑問を提示している。そして、彼らの死は歴史上の墓石ではなく、今日につながっていくものであると意味づけようとした。

●主役のデヴィッドは、イアン・ソフトリー監督「バック・ビート」('93)でジョン・レノン役を好演したイアン・ハート。革命のヒロイン、ブランカを演じるのはスペインのロサナ・パストールである。彼女の輝くばかりの演技により、理想社会への夢が、永遠に生き続けていることを印象づけられる。(上映時間:1時間50分)



好評上映中!

岩波ホール (3262) 5252

●地下鉄(都営三田線・新宿線/営団半蔵門線)神保町駅・A6出口
JR(中央線)水道橋またはお茶の水駅・下車12分 ●神保町交差点

上映時間	月～金	12:30	3:30	6:30
入れ替え制 自由定員制	土・日・祝	11:30	2:30	5:30

●団体のお申し込み・お問い合わせは岩波ホール。

●12月30日(月)～1月2日(木)は休館